

孫からも学ぶ

教育学部 昭和42年卒 大前 正昭

『じいじ，ぶー』

と、大きな声がかかる。胸の前で両腕を交差させ、バツじるしをする。交差点のある道路での横断の仕方が悪いと孫に注意されたのだ。慌てて引き返し、右手を高く挙げる。大きな動作をつけ、「右よし。」「左よし。」「右よし。」「渡ります。」と、言って歩く。すかさず、『じいじ，まる』の声。ほめられると，なんとなく気分もよくなる。

ご近所の人たちにも，孫にならって、「おはようございます。」と，あいさつをしながらスクールバス乗り場へと歩を進める。孫は，降雨の日でも，寒い冬でも窓を開けて大きな声で言葉をかけてくれる商店のおにちゃんには，数十メートル手前から大きな声であいさつしていく。時には，ハイタッチをしながら……。私の日課は，こんなふうに特別支援学校に通学している孫の見送りから始まるのだ。

坂出駅南口前のT字路の交差点は，赤信号の待ち時間がとても長い。駅に向かう大人が待ちくたびれて車と車の通行の合間をぬって道路を斜めに横切って走る。孫は，『あ〜あ。』と言って，頭を抱え込む。

朝のラッシュ運転を眺め，感じることもある。シートベルトを締め，正しく運転をしている人がほとんどだ。でも，中には“ハッ”と驚く光景を目にすることがある。

- ・携帯電話・スマートフォンをしながらの運転。
- ・愛犬を抱いての片手運転。
- ・朝食のパンをかじりながらの運転
- ・化粧や髭剃りをする美男・美女。
- ・晴天にもかかわらず，後部に自転車を積み，保護者に運転をさせ，横で化粧にふける高校生。
- ・赤信号を無視し，スピードをあげて走り去る車。

朝はだれでも多忙である。孫や登校している子どもたちに，交通法規を平気で破る大人の姿を見せないでほしい。30余年の教師生活で，このような規範意識のない人間を教育してきたのかと思うと責任を痛感する。

『じいじ，青』

孫といっしょに今朝も横断歩道を渡った。